

三陸養殖業の全国シェア

表 養殖種類別生産量 (2003) と対全国シェア x:秘匿 単位: t

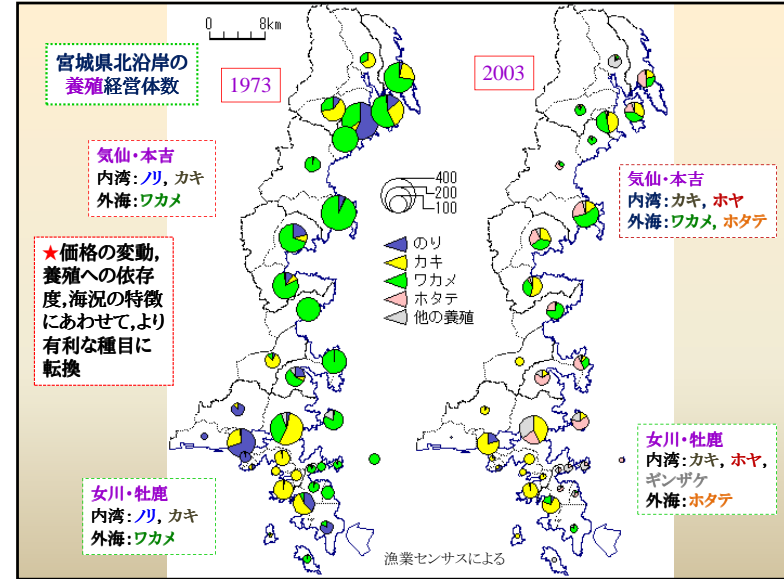
	合計	ぎんざけ	ほたて	かき	他の貝類	ほや	他の水産動物	こんぶ	わかめ	のり
青森*	429	0	0	0	x	0	0	399	13	0
岩手	60,896	x	x	12,337	34	1,828	2	12,804	24,704	7
宮城	140,163	9,174	15,509	56,669	21	10,079	16	2,163	18,743	27,708
福島	1,289	0	0	11	0	0	0	3	0	1,257
全国	1,251,333	9,208	258,343	224,861	2,019	12,485	148	50,978	59,870	347,354
4県%	16.2	99.6	6.0	30.7	2.7	95.4	12.2	30.1	72.6	8.3

*:太平洋北区 漁業養殖業生産統計年報(2003)により作成

※参考

	保有漁船隻数				漁業就業者数		
	合計	無動力	船外機付	動力船	自営漁業	漁業雇われ	
計	21,113	375	14,306	6,432	26,813	17,415	9,398
対全国%	11.4	7.0	17.6	6.5	12.1	12.3	11.6

*1: 太平洋北区 第12次(2008)漁業センサスにより作成



栽培漁業の発展

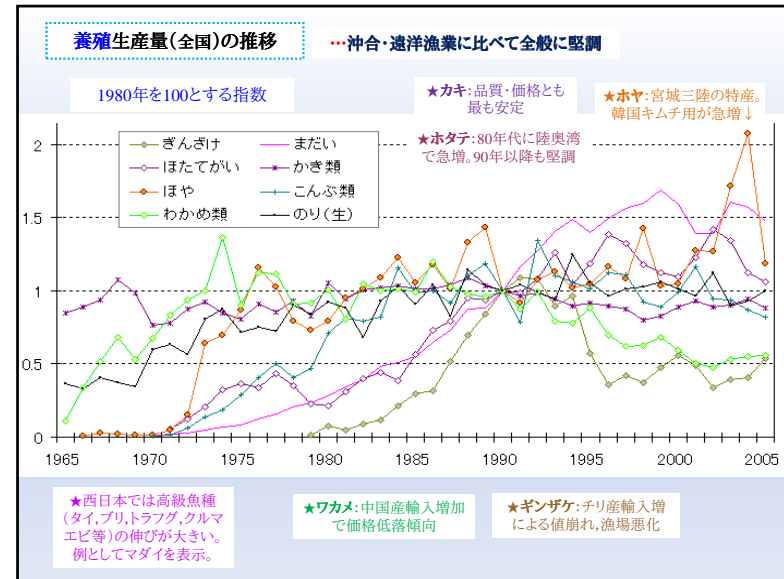
・女川町の例 ⇒ 『女川町誌 続編』

- ・人為管理度 ... 増殖<養殖
- ・海中採苗 ⇒ 養殖
 - ・藻類 ... ノリ, ワカメ
 - ・貝類 ... カキ, ホタテ(地撒は"増殖")
 - ・他 ... ホヤ
- ・陸上育成種苗 ⇒ 増殖
 - ・貝類 ... アサリ, アワビ, ホッキ
 - ・魚類 ... ヒラメ, マツカワ
- ・採取した稚魚や卵による
 - ・ウナギ(養殖), マグロ(蓄養), 遼上サケ(放流, 養殖)

※宮城県の養殖ギンザケは, Washington州の川の遼上サケからとった卵を商社が空輸して孵化業者が稚魚に育成したものを使用。
※ウナギはいま枯渇問題に直面, 地中海産が大半の安い増殖マグロも同じ運命。

・完全養殖はコスト, 品質的に実験段階

年	できごと
1952	松岩(気仙沼)で延縄垂下式のカキ養殖法開発
1953	大槻洋四郎氏, 小乗浜でワカメの新養殖法に成功
1958	国鉄女川臨港線開通
1959	気仙沼波路上に県営ノリ人工採苗場設置 (ノリ養殖は女川では適地少なく普及せず)
1960	チリ地震津波。被災1,217世帯, 6,679人, 死者0
	ワカメ養殖, この頃までに雄勝, 志津川湾に広がる沿岸漁業改善事業で女川湾に沖合養殖施設。外洋養殖普及
1962	
1965	県道石巻・女川線の舗装工事完工
	ワカメ養殖, この頃までに三陸各地に普及
	ホタテ養殖, 女川湾で試みられ, 以後増加へ
1973	ワカメ養殖経営体241でピークに
	この頃ホヤ養殖が急増。ワカメカキ, ホタテと兼業
1974	横浦でアワビの中間育成が試みられる
1975	日露漁業が北米からギンザケ養殖導入, 漁家に参加呼ばれ
1977	谷川浜に宮城県栽培漁業センター開設
1983	町内のギンザケ養殖, 27経営体
1986	ギンザケ養殖122経営体, 志津川町を抜いて生産量日本一



030918河北

稚貝へい死 最大77パー

陸奥湾東部 ヤマセが影響か

陸奥湾の東部海域でホタテの稚貝が大量に死んでいる。原因は不明だが、ヤマセの増殖が影響しているという。稚貝の死骸が漂着しているところも少なくない。漁師からは「ヤマセが増殖すると、稚貝が死んでしまう」という声も聞かれる。現在は、稚貝の採り入れがストップしている。漁師からは「ヤマセが増殖すると、稚貝が死んでしまう」という声も聞かれる。現在は、稚貝の採り入れがストップしている。

07.2.09

ノリ芽落ち深刻

「ハリカン症」被害1億円超か

自浄能力限界

石巻市の養殖場が、ハリカンの被害に遭い、ノリの芽が落ちた。被害額は1億円を超えている。漁師からは「ハリカンの被害は、自浄能力の限界を超えた」という声も聞かれる。現在は、ノリの採り入れがストップしている。漁師からは「ハリカンの被害は、自浄能力の限界を超えた」という声も聞かれる。現在は、ノリの採り入れがストップしている。

ピンチ

養殖ギンザケ

4

ギンザケの養殖が、ピンチに陥っている。原因は不明だが、水質汚染が影響しているという。漁師からは「ギンザケの養殖は、水質汚染の影響を受けている」という声も聞かれる。現在は、ギンザケの採り入れがストップしている。漁師からは「ギンザケの養殖は、水質汚染の影響を受けている」という声も聞かれる。現在は、ギンザケの採り入れがストップしている。

真っ白いカビ

海底にたい積

海底に白いカビがたまり、漁師からは「カビが増殖すると、漁獲量が減ってしまう」という声も聞かれる。現在は、カビの除去作業が行われている。漁師からは「カビが増殖すると、漁獲量が減ってしまう」という声も聞かれる。現在は、カビの除去作業が行われている。

